

レプトスピラ症に

ご注意ください。

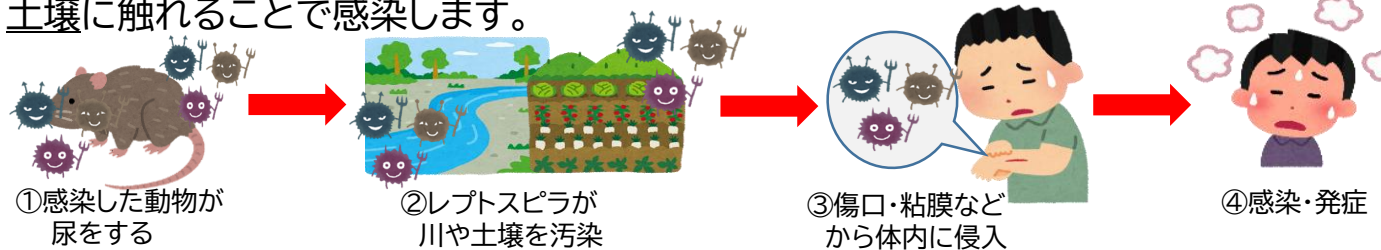
注意!

令和3年10月、宮古島で「レプトスピラ症」が報告されました(レプトスピラ症が2003年に4類感染症に指定されて以来、宮古島での発生は初めて)。

レプトスピラ症は、病原性レプトスピラという細菌によって引き起こされる感染症で、治療せず放置すると、重症化する恐れがあります。

感染経路

レプトスピラに感染したネズミなど(保菌動物)の尿やその尿に汚染された水(淡水)、土壌に触れることで感染します。



- 川など淡水でのレジャー(遊泳、釣り、カヌーなど)が感染機会の大部分を占めていますが、家畜(ウシ、ブタ等)やペット(イヌ、ネコなど)も感染源となります。
- 宮古島では、ネズミなど感染した動物との接触や農作業など汚染された土壌での感染の可能性が高いと考えられます。

症状について

- 寒気を伴う39度以上の**発熱**、**頭痛**、**筋肉痛**、**目の充血**等があり、重症化すると黄疸、腎不全等の症状を発症します。
- 感染すると、**約3~14日後**に発症します。

予防方法



ネズミとの接触や畑作業など感染を疑うような行動があり、前述のような症状が出たら、**すみやかに医療機関を受診**し感染を疑う行動があったことをお伝えください!